

昭和58年度 社会保障給付費

社会保障給付費は、ILO の基準に従い、国内の社会保障各制度の給付費について、毎年度の決算をもとに推計したものである。この推計は厚生省の委託を受けて本研究所が実施した。

結果の要約

1. 昭和58年度の社会保障給付費は総額31兆9,016億円であり、対国民所得比は、昨年度に比べ0.3ポイント増加し、14.5%となった。
2. 社会保障給付費を部門別構成比でみると、昭和58年度には「年金」45.4%、「医療」40.7%、「その他」13.8%である。昭和56年度には「年金」が「医療」をはじめて上回ったが、昭和58年度も前年度に引き続き「年金」の割合が増えてきている。

1. 昭和58年度の社会保障給付費は総額31兆9,016億円で、昭和57年度に比べて6.5%増加している（表1、2参照）。国民1人当たり社会保障給付費は26万7,000円である。社会保障給付費を「医療」、「年金」、「その他」に大別すると、「医療」が12兆9,931億円（構成比40.7%）、「年金」が14兆4,966億円（同45.4%）、「その他」が4兆4,120億円（同13.8%）であり、「年金」の占める比重は前年度に比べさらに増大した（図1、表1参照）。なお、「その他」の内訳は社会福祉1.4兆円、雇用保険1.3兆円、生活保護（医療扶助は除く）0.6兆円などである。

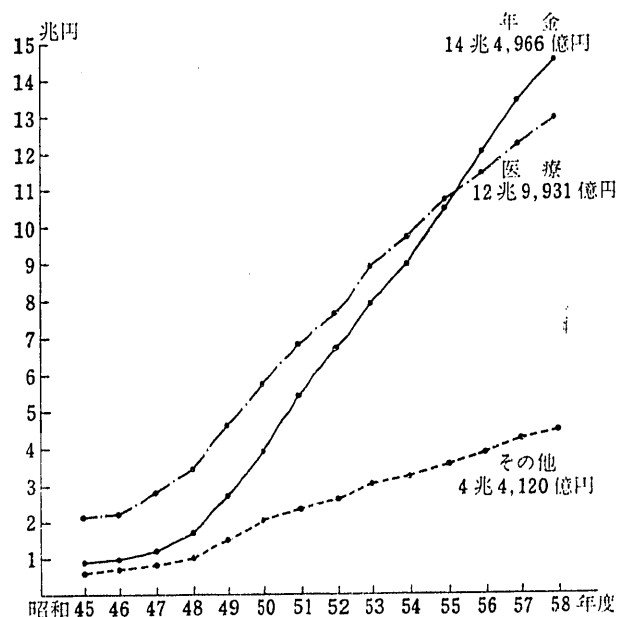


図1 社会保障給付費の部門別推移

注(=参考) 社会保障給付費の「医療」、「年金」、「その他」別分類は次のとおりである。

「医療」には、医療保険、老人保健の医療給付、生活保護の医療扶助、労災保険の医療給付、結核、精神その他の公費負担医療、保健所等が行う公衆衛生サービスに係る費用等が含まれる。

「年金」には、厚生年金、国民年金等の公的年金、恩給及び労災保険の年金給付等が含まれる。

「その他」には、生活保護の医療扶助以外の各種扶助、児童手当等の各種の手当、施設措置費等社会福祉サービスに係る費用、医療保険の傷病手当金、労災保険の休業補償給付、雇用保険の失業給付等が含まれる。

表 1 社会保障給付費の推移

区 分 年 度	社 会 保 障 給 付 費							国 民 所 得
	医 療	構 成 比	年 金	構 成 比	そ の 他	構 成 比	計	
	兆 億円	%	兆 億円	%	兆 億円	%	兆 億円	兆 億円
昭和45 (1970)	2 0,758	58.9	8,562	24.3	5,920	16.8	35,239	60 8,754
46 (1971)	2 2,498	56.7	1 0,152	25.6	7,020	17.7	39,670	65 8,456
47 (1972)	2 7,938	57.1	1 2,323	25.2	8,676	17.7	48,937	77 6,021
48 (1973)	3 3,726	55.2	1 6,956	27.7	1 0,470	17.1	61,152	95 5,260
49 (1974)	4 6,918	52.8	2 6,708	30.0	1 5,267	17.2	88,894	112 0,816
50 (1975)	5 6,881	48.7	3 9,316	33.7	2 0,529	17.6	116,726	123 1,843
51 (1976)	6 7,862	46.9	5 3,859	37.2	2 3,106	16.0	144,828	138 4,468
52 (1977)	7 5,755	45.0	6 6,614	39.5	2 6,093	15.5	168,462	152 6,902
53 (1978)	8 8,661	45.0	7 8,538	39.8	3 0,014	15.2	197,213	166 8,549
54 (1979)	9 7,115	44.3	8 9,987	41.1	3 1,964	14.6	219,066	178 7,125
55 (1980)	1 06,582	43.3	10 4,709	42.6	3 4,753	14.1	246,044	194 0,362
56 (1981)	11 4,424	41.8	12 0,616	44.1	3 8,539	14.1	273,578	203 1,780
57 (1982)	12 2,982	41.1	13 4,115	44.8	4 2,391	14.2	299,489	211 5,504
58 (1983)	12 9,931	40.7	14 4,966	45.4	4 4,120	13.8	319,016	220 6,678

注 1) 国民所得は、経済企画庁「昭和60年版国民経済計算年報」による。

2) 四捨五入の関係で計に一致しない場合がある。

2. 社会保障給付費の伸び率は6.5%であり、近年伸び率は鈍ってきているが、引き続き国民所得の伸び率を上回っている（表2参照）。

ここ10年における1人当たり社会保障給付費は約4.8倍伸びているのに対し、1人当たり国民所得の伸びは約2.1倍となっている（表3参照）。

表 2 社会保障給付費と国民所得の対前年度伸び率

区 分 年 度	社 会 保 障 給 付 費				国 民 所 得
	医 療	年 金	そ の 他	計	
昭和45(1970)	22.3%	23.8%	22.3%	22.6%	19.7%
46(1971)	8.4	18.6	18.6	12.6	8.2
47(1972)	24.2	21.4	23.6	23.4	17.9
48(1973)	20.7	37.6	20.7	25.0	23.1
49(1974)	39.1	57.5	45.8	45.4	17.3
50(1975)	21.2	47.2	34.5	31.3	9.9
51(1976)	19.3	37.0	12.6	24.1	12.4
52(1977)	11.6	23.7	12.9	16.3	10.3
53(1978)	17.0	17.9	15.0	17.1	9.3
54(1979)	9.5	14.6	6.5	11.1	7.1
55(1980)	9.7	16.4	8.7	12.3	8.6
56(1981)	7.4	15.2	10.9	11.2	4.7
57(1982)	7.5	11.2	10.0	9.5	4.1
58(1983)	5.6	8.1	4.1	6.5	4.3

表 3 1人当たり社会保障給付費と1人当たり国民所得

年 度	1人当たり社会保 障給付費		1人当たり国民所得	
	実額 千円	指数 (48年=100)	実額 千円	指数 (48年=100)
昭和45(1970)	33.7	60.2	587.2	67.0
46(1971)	37.4	66.8	626.7	71.5
47(1972)	45.5	81.3	722.9	82.5
48(1973)	56.0	100.0	876.2	100.0
49(1974)	80.4	143.6	1,014.5	115.8
50(1975)	104.3	186.3	1,101.5	125.7
51(1976)	128.1	228.8	1,225.2	139.8
52(1977)	147.6	263.6	1,338.5	152.8
53(1978)	171.2	305.7	1,449.6	165.4
54(1979)	188.6	336.8	1,559.8	178.0
55(1980)	210.2	375.4	1,658.8	189.3
56(1981)	232.1	414.5	1,724.6	196.8
57(1982)	252.3	450.5	1,783.4	203.5
58(1983)	267.0	476.8	1,847.9	210.9

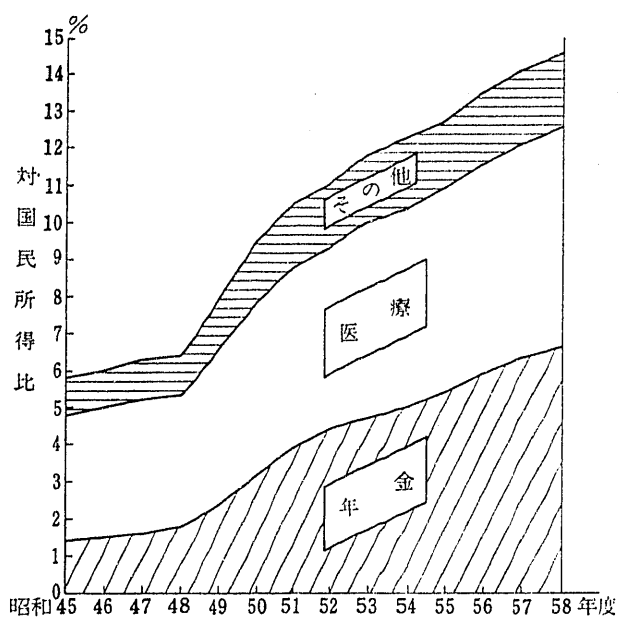


図2 社会保障給付費（対国民所得比）の推移

3. 昭和58年度における社会保障給付費の対国民所得比は14.5%で、前年度の14.2%に比べ、0.3ポイント増加している（表4参照）。

対国民所得比は、昭和51年度にはじめて10%を超えたが、その後も人口の高齢化、年金制度の成熟化などにより上昇している（図2, 3, 表4参照）。

表4 社会保障給付費（対国民所得比）の推移

年 度	対 国 民 所 得 比			
	医 療	年 金	その他	計
昭和45(1970)	3.41%	1.41%	0.97%	5.79%
46(1971)	3.42	1.54	1.07	6.02
47(1972)	3.60	1.59	1.12	6.31
48(1973)	3.53	1.78	1.10	6.40
49(1974)	4.19	2.38	1.36	7.93
50(1975)	4.62	3.19	1.67	9.48
51(1976)	4.90	3.89	1.67	10.46
52(1977)	4.96	4.36	1.71	11.03
53(1978)	5.31	4.71	1.80	11.82
54(1979)	5.43	5.04	1.79	12.26
55(1980)	5.49	5.40	1.79	12.68
56(1981)	5.63	5.94	1.90	13.46
57(1982)	5.81	6.34	2.00	14.16
58(1983)	5.89	6.57	2.00	14.46

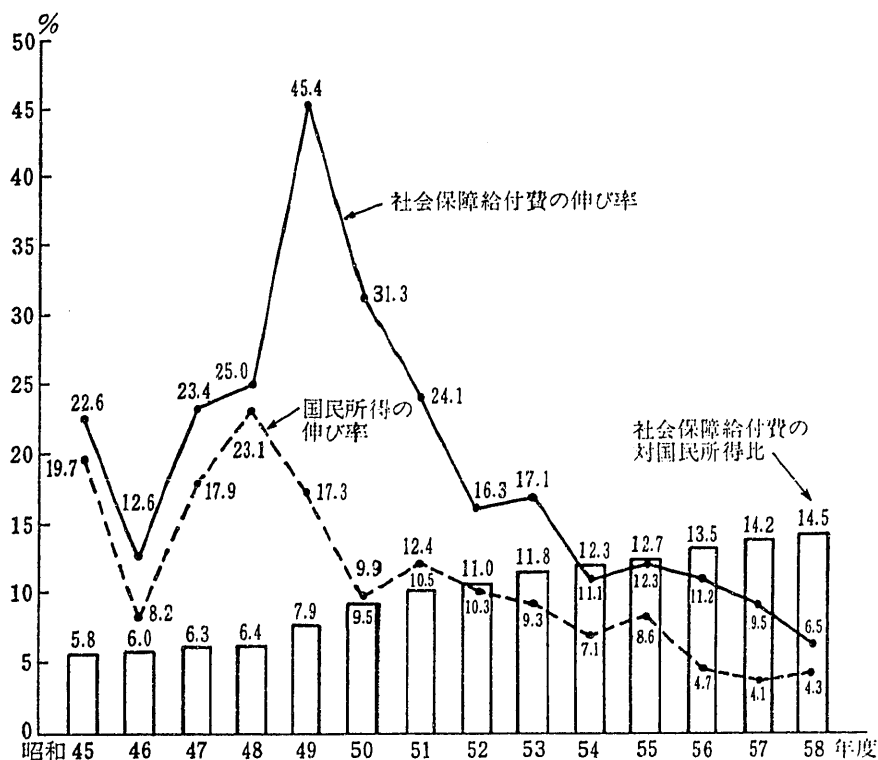


図3 社会保障給付費の推移

参考 1 ILO による社会保障の基準

ILO では国際比較上、社会保障の基準を次のように定めている。

社会保障の範囲 次の3基準を満たす全ての制度

- ① 制度の目的が、治療的または予防的医療を提供するもの、所得保障を行うもの、あるいは扶養家族に対して補足的給付を提供するものであること。
- ② 制度が法律によって定められ、それによって特定の個人に権利が付与され、あるいは公的、準公的、もしくは独立の機関に特定の責任が課されるものであること。
- ③ 制度が公的、準公的、もしくは独立の機関に

よって管理されていること。

ただし、業務災害補償は、その責任が直接事業主に課せられているので、上記③を満たさないが社会保障に含める。

上記の基準に従えば社会保障制度として、社会保険制度（雇用保険や労働者災害補償保険を含む）、家族手当制度、公務員に対する特別制度、公衆衛生サービス、公的扶助、社会福祉制度、戦争犠牲者に対する給付などが含まれる。

注) ILO に対する報告は3年毎に行っている。

前回は昭和57年11月に昭和53～55年度分を報告した。

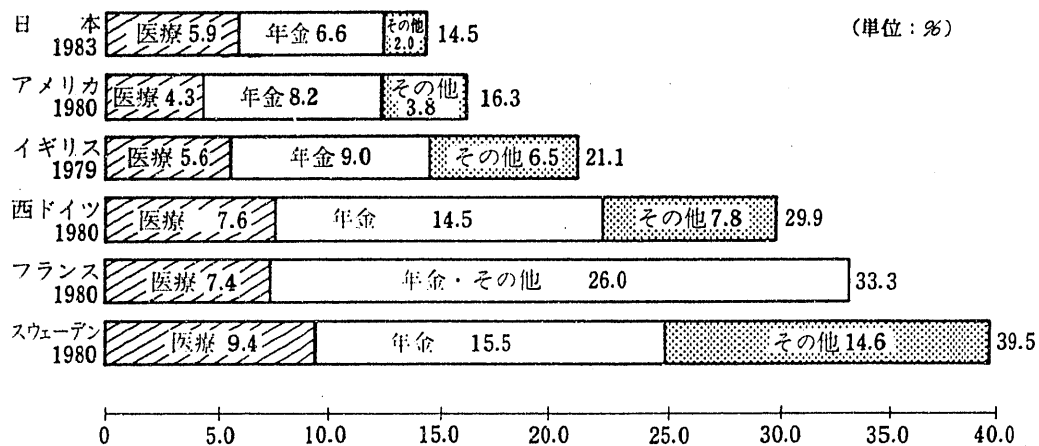
参考 2 社会保障給付費の国際比較

社会保障給付費、租税・社会保障負担率等の国際比較

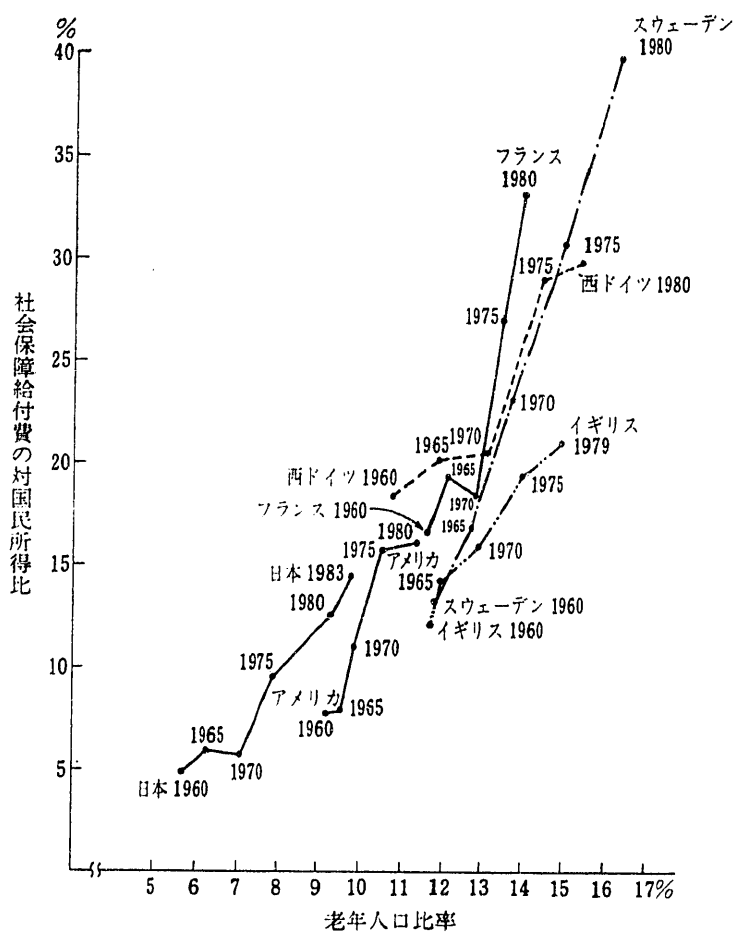
(単位: %)

国名	社会保障給付費の国民所得比 対国民所得比	老年人口比率 (65歳以上人口比率)	年金成熟度 (老齢年金受給者の加入者に対する割合) 1982年	租税・社会保障負担の 対国民所得比 1982年		
				租税負担	社会保障負担	計
日本	12.7	9.6	16.9	23.9	10.4	34.3
1983年	14.5	9.8	18.2	24.5	10.5	35.0
アメリカ	16.3	11.6	18.0	27.3	10.0	37.3
イギリス	21.1 (1979)	15.3 (1981)	19.4 (1980)	43.5	10.9	54.4
西ドイツ	29.9	15.3 (1981)	28.0	30.9	23.2	54.1
フランス	33.3	13.5	38.7 (1981)	33.6	27.5	61.1
スウェーデン	39.5	16.6	31.9 (1981)	48.1	20.2	68.3

社会保障給付費（対国民所得比）の部門別構成の国際比較



老年人口比率（65歳以上人口比率）と 社会保障給付費（対国民所得比）の国際比較



参考 3 ILO 基準による昭和58年度社会保障費用

(単位: 百万円)

	収				入				
	拠 出		社会保 障特別 税	国庫負担	他の公費 負担	資産収入	他制度か らの移転	そ の 他	収入合計
	被保険者	事 業 主							
社 会 保 険									
1. 健 康 保 険									
(a) 政府管掌健康保険	1,493,236	1,493,236	—	593,305	—	—	—	556,070	4,135,847
(b) 組合管掌健康保険	1,183,969	1,581,466	—	5,311	—	116,130	—	182,686	3,069,562
2. 国 民 健 康 保 険	1,674,327	—	—	2,411,337	158,319	—	—	199,165	4,443,149
3. 老 人 保 健	—	—	—	660,215	329,088	—	2,242,482	52,041	3,283,826
4. 厚 生 年 金 保 険	3,145,294	3,145,294	—	619,857	—	2,692,425	—	13,602	9,616,473
5. 厚 生 年 金 基 金 等	277,671	727,040	—	10,025	—	673,627	—	0	1,688,363
6. 国 民 年 金	1,460,372	—	—	1,545,857	—	192,625	—	151,267	3,350,120
7. 農 業 者 年 金 基 金	63,802	—	—	75,351	—	38,293	—	—	177,446
8. 船 員 保 険	67,448	117,696	—	41,028	—	28,164	—	2,384	256,720
9. 日 雇 労 働 者 健 康 保 険	11,434	11,442	—	33,665	—	—	—	735,682	792,222
10. 農林漁業団体職員共済組合	60,105	60,105	—	17,863	—	66,367	—	2,372	206,812
11. 私立学校教職員共済組合	79,484	79,484	—	6,174	5,633	54,036	0	186	224,995
12. 雇 用 保 険	466,369	763,827	—	340,725	—	48,450	—	46,092	1,665,462
13. 労 働 者 災 害 補 償 保 険	—	935,922	—	2,280	—	—	—	33,785	971,987
家 族 手 当									
14. 児 童 手 当	—	77,665	—	64,042	30,823	—	—	11,230	183,760
公 務 員									
15. 国 家 公 務 員 共 済 組 合	280,451	609,979	—	47,206	—	242,695	—	800	1,181,131
16. 地 方 公 務 員 等 共 済 組 合	804,042	1,713,948	—	—	142,986	679,320	19	111,912	3,452,229
17. 公 共 企 業 体 職 員 等 共 済 組 合	206,708	761,278	—	—	243	132,435	—	151	1,100,815
18. 旧 令 共 済 組 合 等	—	3,931	—	21,557	—	161	—	0	25,649
19. 国 家 公 務 員 災 害 補 償	—	8,628	—	—	—	—	—	—	8,628
20. 地 方 公 務 員 等 災 害 補 償	0	17,110	—	—	—	2,556	—	1,447	21,112
21. 公 共 企 業 体 職 員 業 務 災 害	—	7,302	—	—	—	—	—	—	7,302
22. 国 家 公 務 員 恩 給	742	130,821	—	1,316	—	—	—	—	132,879
23. 地 方 公 務 員 恩 給	—	203,197	—	—	—	—	—	—	203,197
公衆保健サービス									
24. 公 衆 衛 生	—	—	—	435,931	185,349	—	—	—	621,281
公的扶助及び社会福祉									
25. 生 活 保 護	—	—	—	1,136,107	290,207	—	—	—	1,426,314
26. 社 会 福 祉	—	—	—	1,271,970	327,258	—	—	—	1,599,228
戦 争 犠 牲 者									
27. 戦 争 犠 牲 者	—	—	—	1,766,394	—	—	—	—	1,766,394
総 計	11,275,455	12,449,370	—	11,107,515	1,469,906	4,967,283	2,242,502	2,100,871	45,612,901

	支						
	給						
	疾 病 ・ 出 産		業 務 災 害			年 金	失 業
	医 療	現 金	医 療	現 金			
年 金				年金以外 の 現 金			
社 会 保 険							
1. 健 康 保 険							
(a) 政府管掌健康保険	2,621,511	242,936	—	—	—	—	—
(b) 組合管掌健康保険	1,832,945	162,386	—	—	—	—	—
2. 国 民 健 康 保 険	2,777,811	48,962	—	—	—	—	—
3. 老 人 保 健	3,265,956	—	—	—	—	—	—
4. 厚 生 年 金 保 険	—	—	—	—	—	5,010,347	—
5. 厚生年金基金等	—	—	—	—	—	214,912	—
6. 国 民 年 金	—	—	—	—	—	3,268,324	—
7. 農 業 者 年 金 基 金	—	—	—	—	—	137,031	—
8. 船 員 保 険	33,561	10,341	18,167	22,406	5,934	129,833	14,490
9. 日雇労働者健康保険	61,556	8,184	—	—	—	—	—
10. 農林漁業団体職員共済組合	—	—	—	—	—	115,224	—
11. 私立学校教職員共済組合	52,429	4,636	—	—	—	38,510	—
12. 雇 用 保 険	—	—	—	—	—	—	1,297,968
13. 労働者災害補償保険	—	—	218,341	340,895	219,111	—	—
家 族 手 当							
14. 児 童 手 当	—	—	—	—	—	—	—
公 務 員							
15. 国家公務員共済組合	184,387	9,731	—	185	—	684,604	—
16. 地方公務員等共済組合	509,436	30,009	—	4,200	—	1,631,625	—
17. 公共企業体職員等共済組合	128,512	5,343	—	8,892	—	804,434	—
18. 旧 令 共 済 組 合 等	175	1,216	—	—	—	20,000	—
19. 国家公務員災害補償	—	—	4,154	3,416	969	—	—
20. 地方公務員等災害補償	—	—	6,632	8,270	3,040	—	—
21. 公共企業体職員業務災害	—	—	1,092	6,105	104	—	—
22. 国 家 公 務 員 恩 給	—	—	—	—	—	131,563	—
23. 地 方 公 務 員 恩 給	—	—	—	—	—	203,197	—
公衆保健サービス							
24. 公 衆 衛 生	461,532	73,702	—	—	—	—	—
公的扶助及び社会福祉							
25. 生 活 保 護	786,480	324	—	—	—	—	—
26. 社 会 福 祉	24,337	—	—	—	—	—	—
戦争犠牲者							
27. 戦 争 犠 牲 者	4,047	—	—	—	—	1,712,638	—
総 計	12,744,673	597,771	248,387	394,369	229,158	14,102,242	1,312,458

- 注 1) この表は ILO 事務局による「社会保障費用調査」の基準に従って算出したものである。
- 2) 「老人保健」は医療事業に関するもののみに計上されており、医療を除く保健事業に関するものは「公衆衛生」に計上されている。
- 3) 国民年金には福祉年金を含む。
- 4) 公衆衛生には結核医療等の公費負担を含む。
- 5) 四捨五入の関係で計に一致しない場合がある。
- 6) 0 は百万円単位に四捨五入するとゼロであることを示す。

備考 社会保障費用の項目説明

1. 収入項目

- (1) 資産収入——利子収入、預託利子収入、施設利用料収入、運用収入、貸付金利息受入、利息及び配当金、財産処分益、償還差益、賃貸料、受取利息
- (2) 他制度からの移転——老人保健拠出金、私学共済の厚生年金保険からの移換金、地方公務員共済組合の船員保険からの移換金
- (3) その他の収入——借入金、雑収入、繰越金、繰入金、組合債、寄付金、受取延滞金、損害賠償金、補助金、繰越差益

(単位: 百万円)

付			出				収 支 差
そ の 他		計	管 理 費	他制度への移転	そ の 他	支 出 合 計	
医療以外の現物	現 金						
—	12,959	2,877,406	39,683	540,015	664,956	4,122,059	13,788
—	11,613	2,006,944	74,850	363,801	305,146	2,750,741	318,821
—	11,400	2,838,173	146,717	1,120,712	112,520	4,218,122	225,026
—	—	3,265,956	3,000	—	7,923	3,276,878	6,948
—	—	5,010,347	27,408	0	198,781	5,236,537	4,379,936
—	—	214,912	28,597	—	122	243,632	1,444,731
—	—	3,268,324	91,248	—	36,214	3,395,786	△45,665
—	—	137,031	3,486	—	1,646	142,163	35,283
—	1,295	236,028	2,493	12,132	6,221	256,874	△ 154
—	133	69,872	2,029	15,855	704,057	791,813	409
—	—	115,224	2,130	—	287	117,642	89,170
—	1,158	96,733	2,417	9,962	384	109,497	115,498
—	—	1,297,968	54,752	—	234,842	1,587,562	77,900
—	—	778,347	28,063	—	93,936	900,345	71,642
—	164,974	164,974	4,393	—	10,919	180,287	3,473
—	3,506	882,412	1,885	46,944	380	931,621	249,509
—	10,414	2,185,684	14,675	101,735	30,052	2,332,146	1,120,083
—	2,035	949,216	301	—	33,115	982,632	118,183
—	—	21,391	205	—	3,935	25,532	118
—	—	8,539	—	—	88	8,628	—
—	—	17,941	1,122	—	184	19,247	1,865
—	—	7,302	—	—	—	7,302	—
—	—	131,563	1,316	—	—	132,879	—
—	—	203,197	—	—	—	203,197	—
971	—	536,205	185	—	84,891	621,281	—
—	614,087	1,400,891	24,440	—	983	1,426,314	—
1,077,039	322,087	1,423,463	16,884	—	158,881	1,599,228	—
1,623	37,276	1,755,584	10,791	—	19	1,766,394	—
1,079,633	1,192,937	31,901,628	583,072	2,211,156	2,690,482	37,386,337	8,226,564

2. 支出項目

- (1) 管 理 費——業務取扱費, 事務所費, 組合会費, 基金運営費, 業務委託費
- (2) 他制度への移転——医療保険各制度から老人保健への拠出金, 厚生年金保険から私学共済への移換金, 船員保険から地方公務員共済組合への移換金
- (3) その他の支出——借入金償還金, 諸支出金, 保健施設費, 福祉施設費 (労災保険の特別支給金を除く), 施設整備費, 支払基金事務費, 一部負担返還金, 組合債費, 當繰費, 手数料, 支払利息, 出資金, 保険料還付金, 負担金, 財産処分損, 償還差額等

参考 4 制度別社会保障給付費の推移

年 度		昭和45 (1970)	50 (1975)	55 (1980)	56 (1981)	57 (1982)	58 (1983)
区 分							
給 付 費 (百万円)	総 額	3,523,909	11,672,622	24,604,398	27,357,797	29,948,896	31,901,628
	医 療 保 険	1,781,047	4,923,840	9,360,150	10,128,027	10,695,960	8,803,289
	老 人 保 健	—	—	—	—	226,647	3,297,053
	年 金 保 険	476,638	2,904,886	8,377,727	9,802,428	11,020,149	12,091,918
	雇用保険及び業務災害補償保険	289,919	1,015,305	1,558,152	1,750,581	2,035,508	2,124,587
	児 童 手 当	—	144,435	177,765	164,078	165,965	164,974
	生 活 保 護	274,293	676,414	1,155,310	1,236,304	1,336,779	1,400,891
	社 会 福 祉	133,356	762,758	1,599,936	1,745,798	1,852,981	1,423,463
	公 衆 衛 生	180,210	323,962	484,048	496,630	506,367	505,108
	恩 給	319,993	811,080	1,700,853	1,834,593	1,909,317	1,905,024
構 成 比 (%)	戦 争 犠 牲 者 援 護	68,452	109,943	190,457	199,358	199,227	185,320
	総 計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	医 療 保 険	50.5	42.2	38.0	37.0	35.7	27.6
	老 人 保 健	—	—	—	—	0.8	10.3
	年 金 保 険	13.5	24.9	34.0	35.8	36.8	37.9
	雇用保険及び業務災害補償保険	8.2	8.7	6.3	6.4	6.8	6.7
	児 童 手 当	—	1.2	0.7	0.6	0.6	0.5
	生 活 保 護	7.8	5.8	4.7	4.5	4.5	4.4
	社 会 福 祉	3.8	6.5	6.5	6.4	6.2	4.5
	公 衆 衛 生	5.1	2.8	2.0	1.8	1.7	1.6
	恩 給	9.1	7.0	6.9	6.7	6.4	6.0
	戦 争 犠 牲 者 援 護	1.9	0.9	0.8	0.7	0.7	0.6

注) 老人保健には医療を含む保健事業すべてが計上されている。

社会保障研究所研究叢書の刊行予定

昭和60年度～64年度の研究課題「21世紀の社会保障に関する研究」昭和60年度研究成果が、研究叢書 No. 17『社会保障研究の課題』として昭和60年度末に刊行を予定いたしております。

社会保障研究所